



優秀賞

釧路市



音羽協働センター利用者による搾乳作業
写真提供：(公社)北海道農業改良普及協会発行「農家の友」

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

有限会社 仁成ファーム

【釧路市】

農福連携の取組を通して地域とのつながりや地域農業の活性化にも寄与

はじめは？

2017年、事業拡大が進む中で従業員の労働体系をどのようにすべきか検討していたところ、釧路市役所福祉課及び地域の福祉事業者と協議する機会がありました。協議を重ねる中で農福連携という言葉を意識するようになり、2017年に福祉事業者が釧路農業福祉合同会社（音羽協働センター）を設立しました。この会社に当社の第二牧場・第三牧場の牛舎内作業を一部委託することになりました。

作業内容は、主に搾乳作業終了後の搾乳室清掃業務、他にも牛舎清掃、搾乳作業補助、哺育作業補助などの業務を委託しています。

おもな活動

農福連携の取組に際して、当社では障がいを抱える人たちに通年の作業を確保しています。

障がいを抱える方が安心して長く働けるように、作業の見直し、危険箇所やリスクの洗い出し、その対策について社員で協議し、次の通り実施しています。

1. 作業工程の分解：作業を分解することで、障がいを抱える人が多くの作業に参加できます。
2. 障がい特性の把握：牛舎作業は幅広いことから、一人一人の特性にあった仕事に従事してもらっています。
3. マニュアルの作成：作業手順を説明する際は、全ての作業を文書化することを意識しています。



左：清掃作業の状況
写真提供
釧路農業福祉合同会社「パンフレット」

ここが自慢

【従業員と利用者のモチベーション向上へ】
当社の職員が、障がいを抱える人が一生懸命働く姿に、従業員の士気も高まり、職場内の活性化に繋がっています。また利用者においても仁成ファームで働くことで社会との接点と感じる人が多く、働くということに自信や楽しさを見だし、もっと働きたいというモチベーションの向上に繋がったことで、就業意欲の高まりに影響を与えています。

近年では、音羽協働センターの利用者が当社での短時間利用（福祉的就労）を経て、一般就労を実現しているケースも増えてきました。また地域の支援学校の生徒が当社の職場体験に参加し、卒業後は音羽協働センターに入所するなど、当社は就労訓練の場だけではなく、地域とのつながりや地域農業の活性化にも寄与しています。



左：仁成ファーム、協働センターの職員と利用者
写真提供
(公社)北海道農業改良普及協会発行「農家の友」

連絡先

代表者名：樋口英樹さん／設立：1992年／会員：28名

住所：北海道釧路市阿寒町中仁々志別28線105-1

電話番号：0154-60-8515

F A X：0154-60-8515

E-mail：jinsei-farm@jinsei-farm.co.jp

URL：https://www.jinsei-farm.co.jp